

Lasertec News 24

株 主 通 信 第 5 9 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (2020年7月1日~2020年12月31日)

次の成長軌道へ

Lasertec

証券コード6920



成長を支える基盤強化

代表取締役社長 岡林 理

第2四半期連結累計期間の業績報告

株主の皆さまには、日頃よりご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、世界的に新型コロナに対処する経済政策と防疫措置を講じながらの経済活動を余儀なくされました。感染拡大直後の大幅な落ち込みからは持ち直しの動きを見せましたが、冬場に差し掛かり各国において感染の再拡大と経済活動の再抑制が繰り返されています。米中摩擦の強まりなども下振れ要因として懸念されており、依然として予断を許さない状況です。

当社グループの主要販売先である半導体業界では、当初は新型コロナによるマイナス影響が懸念されましたが、5Gのスマートフォンや通信機器のほか、リモートワークやオ

ンライン会議などの広がりによるパソコン並びにデータセンター向けの半導体需要が堅調に推移しました。特に微細化を進めた高性能な半導体に対する需要が強く、ロジックデバイスメーカーは最先端のEUV（極端紫外線）リソグラフィを用いた半導体製造工程の能力増強投資を積極的に行いました。マスクブランクスメーカーも、中長期の需要拡大を見据えてEUV関連分野の投資に取り組んでいます。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は322億31百万円（前年同期比61.6%増）、営業利益は120億56百万円（同50.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は83億62百万円（同49.5%増）となり、いずれも半期の過去最高を更新することができました。

通期の見通しについては期初予想から上方修正を行い、売上高620億円（期初予想比8.8%、50億円増）、営業利益200億円（同17.6%、30億円増）、親会社株主に帰属する

当期純利益 140 億円(同 12.0%、15 億円増)を見込んでいます。

第 2 四半期連結累計期間の受注状況

当第 2 四半期連結累計期間の受注高は 585 億 29 百万円となり、半期受注高で過去最高だった前年同期を 41.9% 上回りました。引き続き EUV マスク関連製品の受注が牽引しており、通期受注高でも過去最高を更新する見込みです。

中期経営計画フェーズⅢ*

2020 年は新型コロナの災禍に見舞われ、我々の行動様式が大きく変貌する年になりました。俗に「ニューノーマル」と言われる生活様式が広がり、ソーシャルディスタンスに配慮した行動が浸透し、在宅勤務・リモートワークが取り入れられて非対面コミュニケーションが増加しました。半導体のテクノロジーは新型コロナがもたらした社会課題の解決に必須の役割を果たすとともに、新しい生活様式の中で活用を広げています。新型コロナが促した変化が、半導体産業の成長を後押ししています。

当期中計フェーズⅢの最終年度です。当社は、拡大する半導体需要ならびに高度化が進む製造技術を成長の好機と捉えて、従来と変わりなく EUV 関連などの先端分野に注力してまいります。下半期には引き続き「成長を支える基盤強化」に努めるとともに、お客さまのご要望に応えた最先端のソリューションをタイムリーに提供し、フェーズⅢで目標とする「飛躍的な成長」に結び付けてまいります。

中間配当

中間配当額は 20 円といたします。前期中間配当は 31 円でしたが、2020 年 1 月 1 日付けで 1:2 の株式分割を行っておりますので、当期中間配当を株式分割前の水準に換算すると 40 円(29% 増)となります。期末配当は通期業績の上方修正に伴い、35 円(期初予想 29 円)を見込んでおります。

レーザーテックは、「世の中にはないものをつくり、世の中のためになるものをつくる」を経営理念として、当社の強みを生かしたビジネスを推進し、お客さまから最も信頼いただける会社の実現を通じて、業績の向上を目指してまいります。

* 2018 年 7 月から 2021 年 6 月までの 3 力年経営計画で、当期は最終年度。

第 2 四半期連結累計期間 業績ハイライト

売上高	受注高	営業利益	純利益*
32,231 百万円	58,529 百万円	12,056 百万円	8,362 百万円
前年同期比 61.6% 増	前年同期比 41.9% 増	前年同期比 50.9% 増	前年同期比 49.5% 増

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

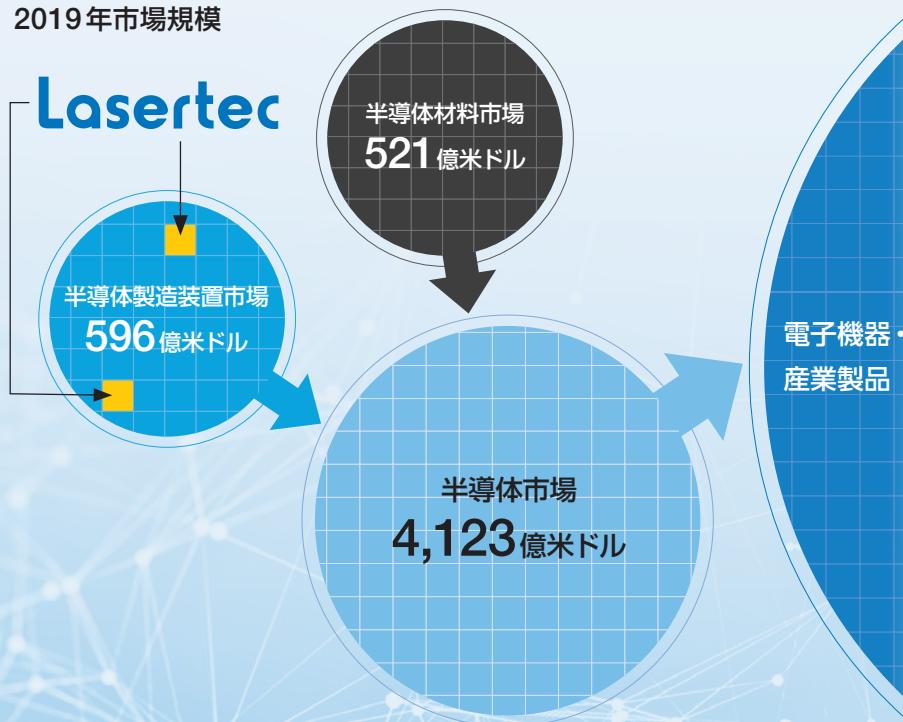
最適なソリューションが導く高い世界シェア

主要市場

スマートフォン、パソコン、テレビや自動車など私たちの生活を豊かにするあらゆる電子機器や産業製品に使われている半導体。半導体の製造には数多くの工程が存在し、さまざまな半導体製造装置が活躍しています。その中でレーザーテックは光応用技術を用いた検査・計測システムに特化し、顧客のニーズを的確に捉えたソリューションを提供しています。

※ 図は「WSTS Semiconductor Market Forecast Spring 2020」および「SEMI 半導体製造装置市場調査(2020年7月)」に基づき、レーザーテックが作成

2019年市場規模



Topics

「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に2度目の選定(11月9日)

「JPX日経インデックス400」は日本取引所グループ、東京証券取引所および日本経済新聞社が共同で算出する、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。当社株式は2020年度(2020年11月30日～2021年8月30日)の構成銘柄として、前年に続き2度目の選定となりました。



高水準の世界シェア

絶え間なく性能向上が求められる半導体の製造工程において、レーザーテックの検査・計測装置は無くてはならない存在です。特に半導体マスク・マスクブランクス欠陥検査装置の主要サプライヤーとして、世界で唯一の製品や高シェアの製品を提供しています。



EUVマスクブランクス欠陥検査/レビュー装置
ABICS E120



アクティニックEUVパターンマスク欠陥検査装置
ACTIS A150



マスクブランクス欠陥検査/レビュー装置
MAGICSシリーズ



EUVマスク裏面検査/クリーニング装置
BASICシリーズ



マスク欠陥検査装置
MATRICS X8ULTRAシリーズ



SiCウェハ欠陥検査/レビュー装置
SICA88

「デロイト 2020年 日本テクノロジー Fast 50」を受賞(12月10日)

「日本テクノロジー Fast 50」は、デロイト トウシュ トーマツ リミテッドが実施するTMT(テクノロジー・メディア・通信)業界で高成長企業を比較評価するプログラムです。上場・未上場企業を問わず、過去3決算期の売上高成長率で上位50社がランキングされます。今回は18回目の開催で当社は26位にランクインし、2003年(45位)、2012年(50位)に続き3度目の受賞となりました。

50

Technology **Fast 50**
2020 Japan

2021年6月期（第59期）第2四半期累計期間の連結決算のご報告

連結貸借対照表(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 2020年12月31日	前第2四半期 2019年12月31日	前連結会計年度 2020年6月30日	科目	当第2四半期 2020年12月31日	前第2四半期 2019年12月31日	前連結会計年度 2020年6月30日
資産の部				負債の部			
流動資産	75,773	50,076	70,002	流動負債	44,410	24,812	42,058
				固定負債	539	536	559
固定資産	14,391	10,689	11,791	負債合計	44,950	25,349	42,618
				純資産の部			
資産合計	90,164	60,766	81,794	株主資本	44,974	35,215	39,047
				① 純資産合計	45,214	35,417	39,175
				負債純資産合計	90,164	60,766	81,794

連結損益計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

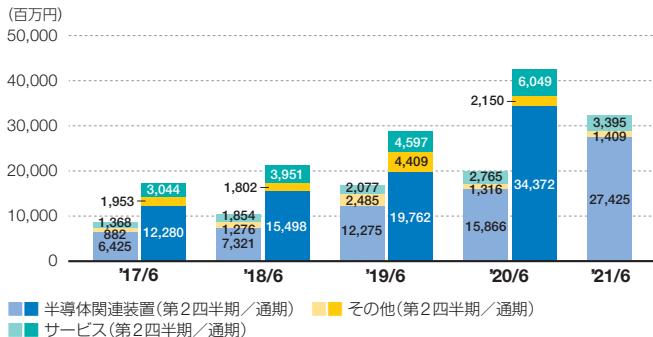
科目	当第2四半期 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)	前第2四半期 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	前連結会計年度 (自2019年7月1日 至2020年6月30日)
② 売上高	32,231	19,948	42,572
売上原価	15,563	8,279	19,581
売上総利益	16,667	11,669	22,991
販売費及び一般管理費	4,610	3,680	7,929
② 営業利益	12,056	7,988	15,062
② 経常利益	11,823	7,948	15,115
② 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,362	5,593	10,823

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

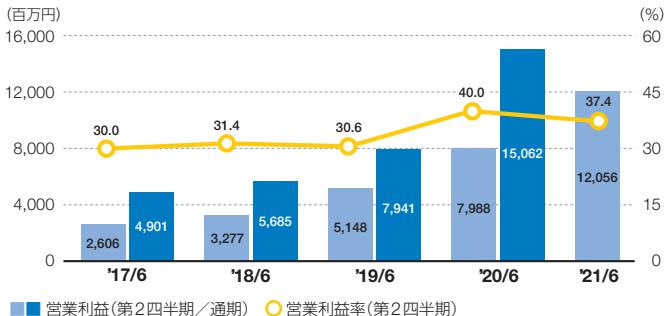
(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)	前第2四半期 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	前連結会計年度 (自2019年7月1日 至2020年6月30日)
③ 営業活動による キャッシュ・フロー	△3,432	4,073	16,486
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,260	△1,588	△2,038
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,436	△1,400	△2,800
現金及び現金同等物の 期首残高	24,660	13,120	13,120
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,192	14,241	24,660

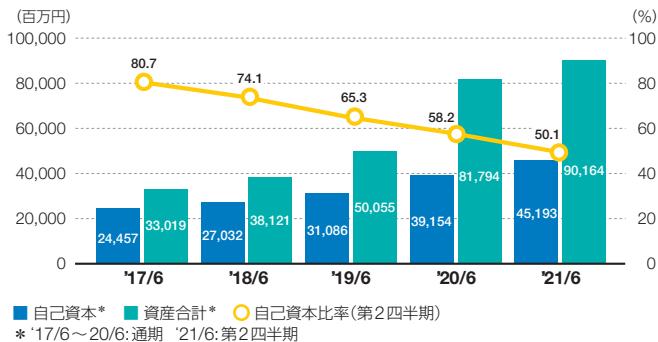
製品別売上高



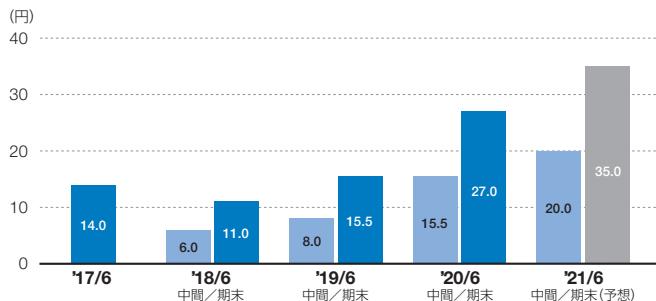
営業利益・営業利益率



自己資本・資産合計・自己資本比率



1株当たり配当金



※ 2017年6月期以降、普通株式1株につき2株の割合での株式分割を2回実施いたしました (2017年4月1日付および2020年1月1日付)。

経年比較のため、上記の金額は2017年6月期の期首にこれらの株式分割が行われた仮定で算定しております。また、2018年6月期より中間配当を実施しております。

第2四半期：7月1日～同年12月31日 通期：7月1日～翌年6月30日

決算のポイント

① 純資産合計

株主資本にその他の包括利益累計額および新株予約権を加えた純資産合計は452億14百万円となりました。自己資本比率は50.1%で、引き続き財務の健全性を維持しています。

② 売上高/利益

EUV向け製品が牽引し半導体関連装置が大幅増収となり、売上高、利益が半期における過去最高額を更新。営業利益は前第2四半期に続き前年同期比50%以上の増加となりました。

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどの支出要因が、税金等調整前四半期純利益などの収入要因を上回りました。

会社概要 (2020年12月31日現在)

社名	レーザーテック株式会社
所在地	〒222-8552 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
設立	1962年8月
資本金	9億3,100万円
主な事業内容	下記製品の開発・製造・販売・サービス 1. 半導体関連装置 2. エネルギー・環境関連製品 3. レーザー顕微鏡関連製品 4. FPD関連装置
従業員数	連結 503名 単体 312名
お問い合わせ先	045-478-7127(経営企画室)

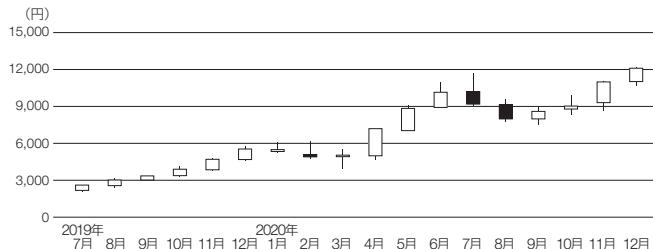
株式情報 (2020年12月31日現在)

株式概要

上場市場	東京証券取引所市場第一部
発行済株式総数	94,286,400株
株主数	25,625名
大株主一覧	持株数(千株) 持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,741 7.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,340 4.81
内山 靖子	4,006 4.44
内山 洋	3,483 3.86
株式会社三菱UFJ銀行	3,008 3.33
内山 秀	2,788 3.09
前田 せつ子	2,587 2.86
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,750 1.94
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,718 1.90
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,532 1.69

(注)1. 当社は、自己株式を4,108千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 持株・持株比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株価の推移



役員

代表取締役社長 岡林 理	社外取締役 海老原 稔
代表取締役副社長 楠瀬 治彦	山下 隆之 三原 康司
常務取締役 内山 秀 森泉 幸一	常勤監査役 浅見 公一
取締役 関 寛和	監査役 塚崎 健明 石黒 美幸 出雲 栄一

株主メモ

事業年度 7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月
基準日 毎年6月30日(なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載URL <https://www.lasertec.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

当社Webサイトのご案内

<https://www.lasertec.co.jp/ir/>

日興アイ・アール株式会社の「2020年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」にて総合ランキング最優秀企業に選ばれました。

